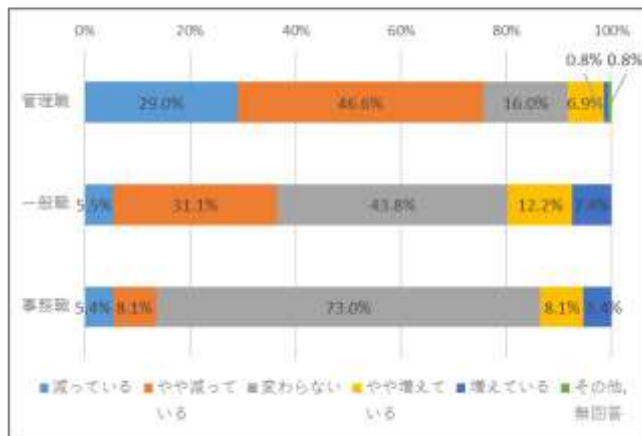


「教職員の業務改善に関する意識調査」の結果①（勤務時間の変化）☺

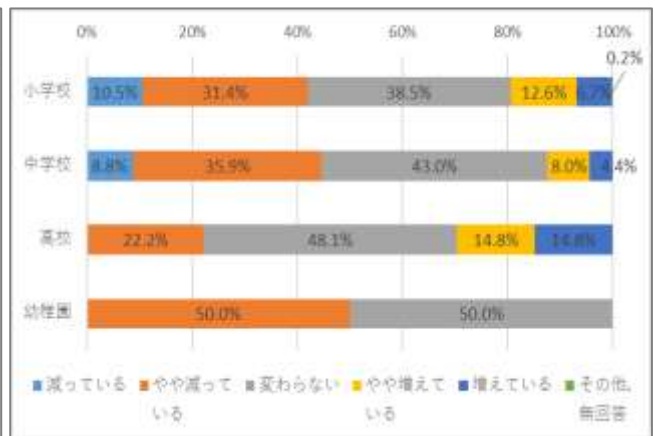
令和2年2月に実施した「教職員の業務改善に関する意識調査」の結果を本通信でお伝えしていきます。今回は、勤務時間の変化についてです。

Q.昨年2月のアンケート実施時期と比較した、現在の状況を回答ください。勤務時間はどのように変化していますか。

【職種別】



【校種別】



※<グラフ左から、青色(減っている)赤色(やや減っている)灰色(変わらない)黄色(やや増えている)青色(増えている)緑色(その他)>

減っている(青色)、やや減っている(朱色)と回答している割合は、管理職では約75%(昨年比同)、一般職では約37%(**昨年比約6%増**)、事務職は約13%(昨年比同)となりました。

減っている(青色)、やや減っている(朱色)と回答している割合は、小学校では約42%(**昨年比9%増**)、中学校では約45%(昨年比同)、高校では約22%、幼稚園では約50%となりました。

減っている、やや減っている理由：学校運営体制の充実、業務改善への意識の高まり、部活動指導の負担軽減等
増えている、やや増えている理由：新たな教育課題等への対応、新学習指導要領への対応、持ち帰り業務の増加等

職種別、校種別双方において、勤務時間が「減っている」と回答した割合が、昨年と比較して同じ、または増えているなど、これまでの業務改善の取組の効果が現れていることがわかります。

一方で、昨年と比べて勤務時間が「変わらない」または「増えている」と回答した割合も一定程度あることから、今後も継続して、業務改善の取組を進めていく必要があります。

🕒🕒🕒 出退勤時刻の客観的把握が始まりました☺

本年4月1日から、市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校において、出勤した時刻と退勤する時刻を記録する取組が始まりました。国の指針では、時間外勤務に相当する時間について、1か月で45時間以内、1年で360時間以内を上限時間として定めています。

まずは、自分がどれくらいの時間働いているのか、実際の勤務の状況を数字で見ることが大切と考えています。初めのうちは慣れない部分もあるとは思いますが、出勤時と退勤時にICカードで時刻を記録することをお忘れなく!!



「教職員の業務改善のための取組」は[市ホームページ](#)からご覧いただけます☺

このほか、「こういう情報がほしい」などのご要望がありましたら、教育政策課にお知らせください。